

平成 21 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社

代表者名 取締役社長 井手 明彦

(コード番号 5711 東・大証第 1 部)

問合せ先 広報・I R室副室長 鈴木 徹

(T E L 03-5252-5206)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 11 月 10 日に公表した業績予想および平成 20 年 5 月 12 日に公表した配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

I. 業績予想の修正

1. 平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 業績予想数値の修正

(連 結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,520,000	65,000	80,000	25,000	19.70
今回修正予想 (B)	1,460,000	35,000	40,000	1,000	0.79
増 減 額 (B－A)	△60,000	△30,000	△40,000	△24,000	—
増 減 率 (%)	△3.9%	△46.2%	△50.0%	△96.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	1,659,286	100,146	135,984	74,268	59.14

(個 別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	770,000	14,000	38,000	10,000	7.88
今回修正予想 (B)	725,000	5,000	32,000	5,000	3.94
増 減 額 (B－A)	△45,000	△9,000	△6,000	△5,000	—
増 減 率 (%)	△5.8%	△64.3%	△15.8%	△50.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	922,546	34,413	53,609	26,814	21.35

2. 修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な景気後退の影響を受けた自動車・半導体業界からの需要減退により、厳しさを増してきており、銅加工、超硬工具、電子材料およびアルミ事業等主力事業全般に影響が及んでいます。更に、米国におけるセメント需要の減少、為替市場における円高の進行、非鉄金属相場の急落、株式相場の下落影響等も相俟って、連結業績・個別業績共、営業利益、経常利益、当期純利益のそれぞれが前回予想に比べ、大幅に減少する見込みであります。

II. 配当予想の修正

当期の配当金につきましては、業績予想の下方修正を勘案し、遺憾ながら、株主の皆様への期末配当は実施を見送らせていただく予定です。

基準日	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成20年5月12日)	-	-	-	4.00	8.00
今回修正予想	-	-	-	0.00	4.00
当期実績	-	4.00	-	-	-
前期(平成20年3月期)実績	-	4.00	-	4.00	8.00

III. 今後の対策

事業環境の急激な悪化に対し、更に需要が減退しても収益を挙げ得る体質への転換を急ぐべく、当社グループは、以下の「総合経営対策」を強力に推進いたします。

1. 緊急対策の実施
 - ・役員報酬等の削減
 - ・本社費の圧縮
2. 経営資源の更なる集中
 - ・コア事業の更なる絞込み
 - ・研究・技術開発の強化、人財の育成強化
3. 低コスト体質への転換
 - ・需要に見合った生産販売体制の見直し
 - ・固定費の圧縮
 - ・変動費の削減
4. 設備投資の抜本的見直し

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上